

平成25年度事業報告について

1 ツーリズム創造・発展事業

(1) ツーリズム企画推進事業

①委員会を中心に、会員相互の連携により事業企画・推進を図るもの。

委員会名	開催年月日	場所	内容
事業企画委員会	H25. 8. 21	ツーリズム おおいた	平成 25 年度事業計画について
	H25. 11. 6	ツーリズム おおいた	今後の事業展開について
情報発信部会	H25. 7. 10	ツーリズム おおいた	「ぐるり」秋号について 大分県観光情報HP秋特集について
	H25. 10. 21	ツーリズム おおいた	「ぐるり」冬号について 大分県観光情報HP冬特集について
	H25. 12. 11	ツーリズム おおいた	「ぐるり」春号について 大分県観光情報HP春特集について
	H26. 3. 14	ツーリズム おおいた	「平成 26 年度ぐるり製作企画」について 大分県観光情報HP夏特集について

②ツーリズムおおいたが事務局として協議会の運営にあたり、事業企画・推進を図るもの。

協議会名	開催年月日	場所	内容
大分県ふるさとガイド連絡協議会総会	H25. 11. 5	別府湾ロイヤルホテル	平成 24 年度事業報告について 平成 25 年度事業計画について
大分県教育旅行誘致協議会	H25. 6. 28	ニューライフプラザ	平成 24 年度事業報告について 平成 25 年度事業計画について
大分県教育旅行誘致協議会 受入・誘致合同部会	H25. 11. 25	ニューライフプラザ	平成 25 年度上期まとめ・下期に向けて 講演:「今後の修学旅行に求められるもの」
スポーツツーリズム推進連絡協議会	H25. 10. 16	ニューライフプラザ	平成 24 年度事業報告・協議会の発展的解消について

(2) 地域ツーリズム振興事業

①大分県ふるさとガイド育成事業

平成 25 年 11 月 5 日、日出町別府湾ロイヤルホテルにおいて、大分県ふるさとガイド連絡協議会の平成 25 年度総会を開催した。県内の観光ガイド・市町村事務局担当者 68 名が参加し平成 24 年度の事業報告及び平成 25 年度の事業報告について審議を行った。

総会終了後は、大分県観光・地域振興課による「おおいたツーリズム戦略の概要と取り組み」の講演の後に、情報交換会を開催し参加者にて積極的に意見交換を行った。また、ガイドの資質向上のための研修会を、3 月 10 日に別府市で開催し、120 名以上のガイドが参加をして交流を図った。

②広域観光推進事業

- 1) 豊の国千年ロマン観光圏では、引き続き大分県北部地域観光圏協議会に事務局として参画し、県北部の広域観光圏の推進を図った。
- 2) 国東半島芸術祭協議会に参画し、国東半島アートプロジェクト 2013 の企画、運営に携わった。
- 3) 国東半島宇佐地域世界農業遺産推進協議会に参画し、同遺産の普及・啓発を図った。

(3) 国内圏域別誘客促進事業

① 福岡圏域誘客対策

【おんせん県おおいたツーリズム商談会】

期 日：平成 25 年 5 月 28 日（火）

開催場所：ソラリア西鉄ホテル

参加者：福岡県側（エージェント・メディア 59 名：県外の福岡事務所 8 名）
大分県側（20 団体 37 名）

県外からの観光客の約 3 割以上を占める福岡都市圏において、さらなる誘客促進を図る目的で、福岡の旅行エージェントやマスメディアを招待し、平成 25 年度下期及び旬な情報の PR を行った。

第 1 部の全体説明会では、おんせん県おおいたを全面に押し出し、おんせん県のロゴとマークの周知と、なぜおんせん県なのか、おんせん県の女子旅など温泉に絡めた紹介を行い、味力も満載の部分として、おんせん県の麺というテーマに基づき郷土料理から B 級グルメまでおんせん県の麺の紹介を行った。今年度のツーリズム商談会は 3 部構成から 2 部構成に変更し、第 2 部の個別商談会に昨年より時間を延長して商談することができた。

(第1部全体説明会)



(第2部個別商談会)



【おんせん県おおいたツーリズム商談会】

日程：平成26年3月6日（木）～3月7日（金）

視察場所：大分県北部地域

説明会&懇親会：別府湾ロイヤルホテル

大分県観光客の約3割を占める福岡都市圏のエージェントを対象とし、招聘ツアーを行なった。初開催の招聘ツアーは、福岡からエージェント9名の参加があり、「国東半島芸術祭」「千年ロマン観光圏」「世界農業遺産」の現地視察を行いました。説明会では現地視察関係者からそれぞれ説明を行い、その後、県内より参加の6市町村がPRを行った。

懇親会では、参加市町村が特産品PRの抽選会を行い会場を盛り上げた。

今回は年度末ということもあり、エージェントの参加が少なく小規模な招聘ツアーとなったが、その分深く交流できた。



【旅くらぶおおいた活用事業】

旅くらぶおおいたホームページを管理、運営するとともに、毎月メールマガジンを配信し、会員向けに季節の情報や旬の話題を配信した。

会員特典のモニターツアーは、来年度「千年ロマン」のプログラム2つを先行して体験する特別ツアー。豊後高田市、宇佐市、別府市にて実施。

実施日：3月15日(土)、16日(日)1泊2日

ツアー名：「おんせん県おおいた 千年ロマンゆるり旅」モニターツアー

② 関西・中国圏域誘客対策

【おんせん県おおいた大阪駅キャンペーン】

西日本エリアの駅で利用者数が最大（1日延べ30万人）である大阪駅を拠点におんせん県おおいたをPRするため、大阪駅での観光・物産PRやおんせん県の体験コーナーの設置、百貨店での農林水産物のおおいたフェアを行うとともに、誘客対策として旅行会社向け、官民協働した観光情報発信会・商談会も行った。

◇キャラバン隊PR

イベント参加のため大阪に集まるキャンペーンレディによるキャラバン隊を編成（3班）、関西のマスコミに集中PRを実施した。

ラジオ生出演：ラジオ関西

新聞掲載：7社（産経新聞、トラベルジャーナルほか）

◇観光と物産キャンペーン

開催日：平成25年10月4日（金）、5日（土）

開催場所：JR大阪駅 旧砂時計広場、南ゲート広場

来場者数：1万人 物販売上（南ゲート広場）：48万円

◎旧砂時計広場

大分県と全市町村のポスターの掲示とパンフレットを設置し、パンフレットセットを配布するとともに、モニターでは「おんせん県っていつちやいましたけん」のCMを流し、おんせん県おおいたをPRした。また、会員制クチコミサイトの旅くらぶおおいたや、おんせん県おおいたのフェイスブックを立ち上げた情報の発信を行った。



◎南ゲート広場

○ステージイベント

・キャンペーンレディ、ゆるキャラによる各市町村の観光PR，クイズ大会の実施やお客様参加型のステージイベントの実施し、おんせん県おおいたの各市町村のPRを行うとともに、大分県の特産品であるかぼすをPRして無料配布を行い、観光・物産ともにPRした。

※ステージ内容

- ・キャンペーンレディ、ゆるキャラによる各市町村の観光PR
- ・郷土芸能「日田祇園囃子」の披露
- ・かぼすの配布。
- ・あべ由紀子さんの「かぼす音頭」の披露。(4日のみ)



市町村PR



市町村ステージイベント



日田祇園囃子



かぼす配布



あべ由紀子さんステージ

○物産販売（南ゲート広場）

- ・大分県産品を販売し、観光とともに物産PRも行った。

※物産内容

- ・こだわり大分 乾し椎茸、柚子ごしょう、かぼす果汁など
- ・ゆらり コルネ、プリン
- ・三栄物産 いりこ、ちりめん、焼きえび、うるめ
- ・手作りの店ホープ かりんとう、さつまいもチップス、いもけんぴ、焼きいも
- ・萬力屋 下駄、サンダル、スリッパ、雪駄
- ・七島イ振興会 七島イ円座、七島イミサंगा、七島イ手編み草履



○おんせん県おおいた観光PRコーナー

- ・国東半島アートプロジェクト・ジオパークコーナー、黒田官兵衛コーナー、「温泉と味力」紹介相談コーナーを設置し、大分県の旬な観光情報等を提供した。



○おんせん県おおいた体験コーナー

- ・手湯体験コーナー、プチ泥エステ体験コーナーを設置し、おんせん県ならではの魅力を体験していただいた。体験コーナーは多くのお客様に来て頂き、好評だった。



○大抽選会

・旧砂時計広場で抽選券を配布し、南ゲート広場で各市町村の特産品があたる抽選会を行った。



◇おんせん県おおいた情報発信会・観光商談会

開催日時：平成25年10月3日（木）15：00～18：00

開催場所：ホテルグランヴィア大阪

参加者：旅行会社 30名、市町村 13市町村、民間・施設 55名

官民協働して、大阪の旅行会社に大分県の観光情報発信を行い、商談会では各市町村ごと、施設はエリアごとにブースを設け、旅行会社に個別に観光情報提供を行った。

◇大丸梅田店 旅スタイルコレクション×おおいた

開催日：平成25年10月4日（金）～6日（日）

開催場所：大丸梅田店7階婦人服売り場

7階婦人服売り場で15,750円以上お買い上げの方を対象に、大分県の宿泊券や大分県の特産品があたる抽選会を行い、富裕者の女性向けにおんせん県おおいたをPRを行った。

◇おおいた観光と食の夕べ

開催日時：平成25年10月4日（金）19：00～20：30

開催場所：ホテルモントレ大阪

参加者：来賓172名、市町村長 10市町村、大分県関係者 63名

大分県主催の観光と食の夕べに参加して、関西地域の経済界・観光業界の方々と懇親を深めるとともに、観光情報提供を行った。

◆平成26年おんせん県おおいたツーリズム商談会

日時：平成26年2月18日（火）13:30～16:30

会場：広島グランドインテリジェントホテル

「おんせん県おおいたツーリズム商談会」を広島県で開催した。広島県での開催は、平成23年5月以来の開催で、当日は広島県内のエージェント、マスコミ関係者20名

の方が出席し、大分県側からは9市町村20名が参加。

第1部全体説明会では「東九州自動車道の全線開通」など、最新の観光情報をPRしました。その後、第2部特産品体験、第3部個別商談会を開催したが、エージェントの方々は終了時間まで各市町村ブースを回り、勢力的に情報収集され、盛況のうちに終了した。



【広島PR】

日本観光振興協会九州支部が主催する広島（イモール広島府中）での「九州・沖縄 Xmas 大観光展」に参加し、大分の温泉、味力をPR。

【教育旅行】

○教育旅行セールス

4月17日(水)～19日(金) 北陸・関西方面セールス

金沢、福井、京都、大阪、奈良 JTB、KNT、TOPTOUR 等17店舗

5月7日(水) 東京セールス

TOPTOUR 東京教育旅行支店／KNT 本社／JTB コーポレートセールス

8月22日(木) 関西方面セールス

大阪、神戸 JTB 等4店舗、中学校1校

11月18日(月)～19日(火) 横浜セールス

(株)JTB コーポレートセールス／TOPTOUR 横浜支店／近畿日本ツーリスト

日本旅行 神奈川教育旅行支店／学校3校

12月17日(火)～18日(水) 広島・岡山セールス

岡山 日本旅行、JTB、KNT

広島 名鉄観光、KNT、日本旅行、TOPTOUR、JTB・学校9校

1月30日(木)～31日(金) 松山セールス (宮崎県と合同)

日本旅行・JTB・KNT・(株)ゾトラベルサービス本社

3月4日(火)～3月6日(木) 日本旅行キャラバン (中部・関西)

- ・名古屋教育旅行支店・中部営業本部・岐阜教育旅行支店
- ・滋賀(草津)教育旅行支店・京都教育旅行支店・大阪教育旅行支店
- ・西日本営業本部・兵庫教育旅行支店

○教育旅行招聘ツアーについて

【日本旅行】

期 日：7月1日(月)

開催場所：APU、ホテル三泉閣（別府市）

参加者：(大分県側)25名・(日本旅行側)全国より21名

日本旅行教育旅行営業担当者の初となる大分県での研修が行われた。立命館アジア太平洋大学での留学生とのグローバル教育プログラム体験の後、別府市にあるホテル三泉閣にて意見交換会を行った。大分県側からは教育旅行誘致協議会を中心とした各団体や旅館ホテル・施設よりPRを行い、日本旅行側からもニーズなどのヒアリングをするなど有意義な研修となった。翌日は長崎へと移動した。

【TOPTOUR 大阪教育旅行支店】

期 日：8月18日(日)・19日(月)

開催場所：APU、住吉浜リゾートパーク、国東市

参加者：(大分県側)10名・(TOPTOUR側)5名

住吉浜リゾートパークに宿泊し、くにもみグリーンツーリズム体験、APUプログラム体験、杵築の城下町散策などを行った。少人数での現地研修となったため、意見交換会の時間を長めに設け、大分県側より各10分ずつのPRのあとディスカッション形式での意見交換会を行った。



日本旅行現地研修の様子



TOPTOUR 現地研修の様子

【九州観光推進機構主催招聘ツアー】

期 日：12月21日(土)

参加場所：日田市内

参加者：関西・関東の中学校の校長先生・教諭を中心とした22名

今回は日田市咸宜園教育センターの視察後、まちあるきガイドと一緒に豆田町の視察を行った。日田市咸宜園教育センター内で、大分県の教育旅行の素材について10分ほどPRの時間を設けた。



咸宜園教育センターでの大分県 PR



豆田町視察の様子

3月15日(土)～16日(日)に JTB 関西地区の教育旅行担当者 19 名を対象とした招聘ツアーを実施。

○九州 7 県合同修学旅行説明会について

8月 6日(火) 岡山会場 (旅行関係者・学校関係者 18名)

7日(水) 名古屋会場 (旅行関係者・学校関係者 46名)

20日(火) 東京会場 (旅行関係者・学校関係者 63名)

21日(水) 大阪会場 (旅行関係者・学校関係者 90名)

大分県からはグローバルな視野を学び、ローカルで行動できる人材育成プログラムを提案した。APU のグローバル教育プログラムで「異なる価値観」に触れながら現代の平和について考え、大分の売りである「農村民泊」を体験する中で自然の厳しきや、人の優しさに触れ「生き抜く」ことの大切さを学ぶことが出来るという大分県ならではの教育旅行プログラムを PR した。

相談会では、修学旅行の取り扱いの多い大阪を中心として多くの旅行会社・学校関係者に大分県ブースへ足を運んで頂いた。APU のグローバル教育プログラムへの問い合わせが多かったが、農村民泊はニーズがあるにも関わらずほとんどの地域で体験できるため、他地域との差別化を求める旅行会社が多かった。



名古屋会場



相談会の様子

○その他

7月7日(日) 教育旅行マーケティングセミナー(佐伯)

8月23日(金) 日本修学旅行協会シンポジウム(東京)

「教育旅行をめぐるニューツーリズムの現状と課題」

9月8日(日) 日中韓教育旅行シンポジウム(名古屋)

2月6日(木) 教育旅行ホームページ「まなびませんか」を開設

(合わせて Facebook ページも開設)



③首都圏誘客対策

東京都の丸の内エリア全体をキャンパスに、朝の時間の学びの場を提供している丸の内朝大学。平成25年度秋から「日本温泉再発見 with おんせん県クラス～魅惑の温泉めぐり～」講座を開設し、温泉ビューティー研究家の石井宏子氏と協力して、「おんせん県おおいた」のPRを行った。

全8コマの講座は、大分県での1泊2日のフィールドワークも含まれており、講座の最後は、フィールドワークでの体験を踏まえ4コースのモデルプランの提案があった。



大分県フィールドワーク
(平成25年11月30日～12月1日)



モデルコース発表
(平成25年12月9日)

【航空会社等と連携した『おんせん県おおいた』PR 事業】

航空各社や就航先地域等と連携を図りながら、「おんせん県おおいた」の魅力・情報発信を行い、観光客の誘致を進めることにより、大分空港の利用促進を図ること目的として、JAL 機内誌への PR 記事の掲載や、関東圏域を対象とした観光情報の発信を行った。



JAL 機内誌 SKYWARD
(平成 26 年 2 月号大分県 PR 記事)



おんせん県おおいたフェア in 千葉
三井アウトレットパーク木更津 (千葉県木更津市)
(平成 26 年 2 月 15 日実施)

【スカイツリーPR】

1 1 月 2 5 日～1 2 月 2 日までの一週間、東京スカイツリーオフィシャルパートナー日本応援プロジェクトの中で、「I LOVE ニッポン」観光 PR コーナーにて、パンフレットの配布など PR

【おんせん県祭り「地獄蒸し祭り」 in 東京タワー】

1 2 月 1 4 日、1 5 日の両日、東京タワー 1 階前広場において、おんせん県の魅力を PR。手湯と泥エステ体験コーナーを設置し、直におんせんの魅力を PR



(4) 総合誘客事業

① JR デスティネーションキャンペーン

○おんせん県おおいたデスティネーションキャンペーン実行委員会設立

平成 2 7 年夏 (7 月～9 月) に開催されるデスティネーションキャンペーンの実行委員会設立会議が、9 月 2 0 日に開催され、1 0 月 1 日付けで事務局が県観

光・地域振興課とツーリズムおおいたに設置された。

27年9月に開催される全国宣伝販売促進会議に向け、市町村等と連携し各地域の素材の掘り起こし、ブラッシュアップを行い、受入態勢の整備を進めている。

○JR 5連貼ポスター

JRグループが、1ヶ月間B1サイズ5連貼ポスターを全国1103の主要駅に掲出する事により集中的に宣伝展開した。

掲出期間平成25年8月1日（木）～8月31日（土）



○写真素材撮影

平成25年夏の本番を見据えて、プロカメラマン8名により大分県内の観光素材写真400ヶ所にて撮影を行った。

③ 大河ドラマ対策

中津編—中津市を中心に観光情報を網羅したパンフレット作成

大分県官兵衛編—大分県の官兵衛ゆかりの地を網羅し福岡市美術館もあわせて九州内での官兵衛情報パンフレット作成

別府編—石垣原の戦いを中心としたパンフレット作成

黒田官兵衛のノボリ、ミニのぼり、キズテープなどのグッズ作成

③旅行予約サイト対策

楽天トラベルでの特集（平成25年10月1日～、

Finding Japan Me（冊子）3万部）

じゃらんNETでの特集（平成25年9月1日～）

（5）広域連携事業

○東九州広域観光推進協議会

【東九州広域観光推進協議会設立総会】

期日：平成25年11月20日（水）14：00～

場所：大分県庁 本館 41号会議室

東九州自動車道の整備が進み、平成26年度中には全線開通予定となっている。全線開通を間近に控え、大分県、宮崎県の両県で魅力の発信など連携した推進事業を行うことを目的に、東九州広域観光推進協議会が設立された。

11月20日に大分県庁で開催された設立総会には、大分宮崎の両観光・地域局長、両観光協会の専務理事が出席し、初代会長には森竹大分県企画振興部観光・地域局長が選任された。今年度の事業としては、県外セールス（愛媛県松山市）を実施。



【大分県・宮崎県合同 四国観光キャラバン】

期 日：平成26年1月30日（木）～31日（金）

訪問先：松山市内のマスコミ、エージェント等

参加者：大分県観光・地域振興課、宮崎県観光推進課、ツーリズムおおいた、みやざき観光コンベンション協会、各県内市町村観光担当者等（計40名）

東九州広域観光推進協議会の事業として、四国からの観光誘客を強化するため、宮崎県と合同で6班に分かれ、愛媛県庁、松山市役所、松山市内のマスコミ及びエージェント等を訪問し、大分県、宮崎県両県の観光素材のPRをした。

また、30日の夜には、現地のマスコミ、エージェントとの意見交換会も実施し、両県の魅力を発信した。



九州観光推進機構主催のマスコミ・旅行会社向けの観光説明会・相談会へ参加し、「おんせん県おおいた」をPR

(6) MICE誘致推進事業

○MICEセールスについて

- 6月17日(月) MICE関係団体訪問
 - 7月18日(木) MICE関係団体訪問
 - 7月30日(火) スポーツ合宿専門 AGT セールス
 - 8月23日(金) MICE関係団体訪問
 - 9月2日(月) MICE関係団体訪問
 - 10月17日(木) キョードー西日本・(株)BEA・(株)AKS
 - 12月12日(木) 大会事務局訪問 2箇所
 - 2月9日(日)～10日(月) 大会事務局 大分県視察
- 成果：H28 日本介護福祉士会全国大会 決定
H28 日本科学技術連盟 QC サークル推進室全国大会 決定
- 12月10日(火)～11日(水) IME2013 (MICE 商談会)
別府市・ビーコンプラザ・大分県・ツーリズムおおいたで共同出展
来場者数 12月10日(火) 1,152名 12月11日(水) 819名
(うち大分県ブース来場者数：70名 59団体/2日)

昨年度を上回る来場者、また400部準備したパンフレットが2日目の午後にはなくなるなどブースは大盛況。特に新しく作成した「おんせん会議へのお誘い」は他県からもとりに来るなど好評だった。商談も59団体と行き、大分県への視察に繋がった大会もある。



その他

- ・7月31日(水)うめきた MICE セミナー (大阪)

統合型リゾートの立地実現へ向けてなど観光とは切り離し、ラグジュアリー層をターゲットとした都市圏中心の MICE 戦略についての講和。

・10月 MICE パンフレット「おんせん会議へのお誘い」完成



大分県での MICE を誘致するに当たって、大分で開催するメリットを PR するため、特に C (コンベンション) に特化したパンフレットを作成した。大分には国際会議の実績もあるしっかりとした「施設」があるだけではなく、会議の活力の源になるバラエティに富んだ温泉や、A 級グルメがあることを紹介。もちろんそれだけではなく、大分は再生可能エネルギーの自給率が

日本一ということや国際交流都市であることなどのコンテンツもあり、ビジネスのきっかけやヒントを見つけることができるということを売りに「おんせん会議へのお誘い」を作成した。

裏面には助成金やアクセス、ホームページの情報などについても記載し、主催者の必要な情報を取りまとめた。

このパンフレットは 109 箇所のエージェント、152 箇所の大会事務局にアンケートと共に送付した。

・10月 MICE ホームページ開設



大分県内にあるコンベンション施設をはじめ、MICE の開催できるホテル、アクセスの便利な宿泊施設、温泉やグルメ、施設見学などアフターコンベンションの情報などを集約したホームページ。パンフレットのダウンロードも可能。今後もユニークベニューなどコンテンツを増やし情報を更新していく。

・10月30日(水) MICE 空港歓迎看板 設置



MICE 受け入れ態勢の整備のひとつとして、空港の到着口に常設の MICE 歓迎看板を設置した。主催者からの要望が多い歓迎看板を常設することで、MICE で大分県へ来られた

お客様へのおもてなしの取り組みとして誘致の際にも PR できる。

- ・3月 MICE パンフレット「おんせん会議へのお誘い2」完成



今回は MICE の中でも立地企業向けの小規模ミーティング（100 名規模～）に特化したパンフレットを作成。ホテルや旅館を使って、大分県らしい温泉や食を絡めた、ゆったりとしたミーティングの提案。裏面には、企業のスポーツ合宿向けに県内のスポーツ施設や助成金についての紹介も合わせて行っている。また、

8 月より新しく出来た助成金の紹介も掲載している。

- ・3月 スポーツツーリズムガイド リニューアル



スポーツ施設の新設や、助成金の改定などに伴い、全市町村にヒアリングをしてガイドブックをリニューアルした。また、もともと掲載している 60 近くのホテルにスポーツ合宿の受け入れ体制（送迎の有無・コインランドリーの有無など）に関するアンケート調査を行った。

- ・3月 コンベンションガイドブック リニューアル



昨年発行したコンベンションガイドブックに新規の内容を掲載し（ホルトホール・新しい助成金制度・PCO 情報など）、ホテルの情報なども追加。

- 3月 アフターコンベンションシート作成

県内での MICE 誘致の強みとするために、会議・大会後のアフターコンベンション

の情報について県内の観光地を絡めた 7 シートを作成。（ゴルフ情報・ウォーターフロントを使ったパーティーなど）

2 観光情報収集・発信事業

(1) 観光情報収集事業

地域観光協会の観光情報と連携する XML システムを活用しながら、県内の旬の情報やご当地ならではの情報、会員を中心とした新しい取り組みに関する情報に努めた。

(2) 観光情報誌発行事業

情報発信部会を中心に、年間20万部発行し、県内外の道の駅やネクスコ SA・PA、公共交通機関等の案内所に設置し、営業、商談会、イベント等、積極的に配布した。

県内季節ごとの魅力ある情報をまとめた観光情報誌「Gururitto ぐるり」は旅の決定権を握る女性をターゲットとし、実用性の高い内容で仕上げるとともに、毎号誌面で掲載した商品を読者プレゼントとし、アンケートを実施。読者層や入手場所、記事に対する感想などの情報収集を行った。

■夏号「おんせん県はスゴイけん！キャンプと温泉もあるけん！」

(6月19日(水)発行)

■秋号「おんせん県はスゴイけん！紅葉と温泉のたび」(8月28日(水)発行)

■冬号「おんせん県って言っちゃいましたけん。冬の絶景温泉とグルメ」

(11月28日(木)発行)

■春号「おんせん県は春爛漫！」(2月27日(木)発行)



また、会員向けには2ヶ月に1回「ツーリズムおおいた NEWS」を発行し、各種事業の実施状況の報告並びに県内の観光の動向を紹介した。

(3) 観光ホームページ管理事業

ホームページの「旬の情報」や「お知らせ」、及びツイッターを通してイベント等の観光情報を発信するとともに、季節特集(夏・秋・冬・春)を組み、大分県の魅力発信を行った。

ホームページの特集では、夏に「大分に来たら行っちゃこ モデルコース summer ver.」として見どころを素早く周るコースや、夏でもアウトドアや涼を感じる1日モデルコースを紹介した。秋には「大分に来たら行っちゃこ モデルコース autumn ver.」として、紅葉めぐりや風情を楽しむのにピッタリなモデルコースを紹介するなど、季節に合わせたモデルコースを各季節3コースずつ紹介。



新しい情報発信として9月26日よりおんせん県の観光に特化したFacebook「おんせん県たびくらぶ」を立ち上げた。県観光・地域振興課とツーリズムおおいたの職員で2～3日ごとに新しい情報を更新し、主に観光スポット、グルメ、イベント等の情報を取り上げている。また毎週金曜日にTwitterでつぶやいているイベント情報を連動させ、facebookにも反映するようにする。



また2014年3月3日より、HP内に「おんせん名人おすすめの湯」のページを新設した。各温泉名人にご協力頂き、「景色がきれいな露天風呂」や「プロが選ぶこだわりの一湯」など6つのジャンルに分けてそれぞれお勧めの温泉を紹介する。今後も温泉を紹介してもらえる名人を増やしていき、同ページ内にてより多くの温泉を紹介できるようにしていく。

(4) マスメディア活用事業

大分県観光のイメージアップを図るため、九州観光推進機構や福岡・大阪・東京の大分県事務所と連携し、テレビ、雑誌、新聞などマスメディアに対して積極的に働きかけ、情報発信に努めた。

雑誌関係では、散歩の達人「女子旅行温泉部」に、由布院温泉を取り上げてもらい、おんせん県おおいたの魅力を情報発信した（8月発刊）。

また、中高年を主なターゲットにした「男の隠れ家」では、来年の大河ドラマ「軍師官兵衛」の特集に大分のゆかりの地を取材してもらい、全国に向けたPRを行った（11月発刊）。

（5）日本一のおんせん県おおいたPR事業

「日本一のおんせん県おおいた 味力も満載」の浸透を狙い様々なグッズを作成しイベント・キャンペーンを行った。

① イベント・キャンペーン配布ツール

- ・カラー和手拭い、ピンバッジ、ミニシール、カットバン、うちわ、ボールペンなどを作成

② イベント・キャンペーン装飾

- ・大幟、タペストリー、おんせん県模型、テーブルクロス、ハッピなどを作成

③ 民間との連携 PR

- ・ミニ幟—大分県旅館ホテル生活衛生同業組合を通じ大分県内の旅館・ホテルに配布
- ・ステッカー—タクシー協会を通じ大分県内タクシー2100台に配布



④ ハーモニランドで活躍中のキティとコラボを実施

- ・サンリオとライセンス契約(1/16～3/15)



おんせん県おおいた
×
Hello Kitty

© 1976,2014 SANRIO CO., LTD. ©



おんせん県おおいた
×
Hello Kitty

おんせん県×ハローキティオリジナルグッズを作成し SNS での情報発信を狙うクリアファイル・付箋紙・ボールペン・ハンドタオル・巾着の 5 グッズ

○各種イベントへの出演や動画の制作

・1/19 羽田空港「空行け！あったか九州観光フェア」にてくまモンとコラボ実施ヤフーニュースのトップに取り上げられる等 170 以上のニュース記事に掲載。

・久住高原を中心に活躍する TAO とコラボし「おんせん県おおいた×ハローキティ×TAO」の観光 PR 動画を作成し今年初の 1/26(いい風呂の日)に公開。

・ SNS シェア数：7,586 シェア (Twitter 4,601 シェア/Facebook 2,985 シェア) ・ SNS リーチ数：1,290,506 リーチ



・ Web R25 のトップページに話題の動画として取り上げられる。

ライブドアニュース、ガジェット通信、MSN などにも取り上げられ話題になる。

・ 1 ヶ月で 30,000 回を超える再生回数。

・ 各地のイベントにおんせん県キティが登場しておんせん県 PR を展開

1/19 日(日)「空行け！あったか九州観光フェア」東京羽田空港

2/15 日(土)「おんせん県おおいたフェア in 千葉」木更津三井アウトレット

2/16 日(日)「おんせん県おおいた in パークプレイス」大分パークプレイス

2/23 日(日)「おおいたフェア 2014」イオンモール京都五条

3/5 日(水) 「トラベルガールズフェスタ」東京目黒雅

○大分県観光ガイドブック (ダイジェスト版) の制作

航空機利用者を主な対象として、観光 PR 用のガイドブック (ダイジェスト版) を作成した。内容は、県内の温泉やグルメ、観光情報や、大分空港で利用できるクーポン券を付け、おんせん県の魅力をコンパクトに掲載した。



○おんせん県おおいたPR動画作成

大分県ツーリズム戦略の「日本一のおんせん県おおいた♫～味力も満載～」をキーワードに、全国に大分県の魅力を伝える映像を制作。

(6) 緊急雇用おんせん県パワーアップ事業

7月28日から開催されたインターハイにおいて、大分空港やメイン会場となる大分スポーツ公園、大分駅、別府駅などに観光案内所を設置し、来県される方へのPR活動や案内を行った。

その他、県内外でのイベントにおいて、おんせん県のPRを行った。

- ・12月14日～15日 日本観光振興協会九州支部主催広島キャンペーン
- ・11月8日～10日 日本観光振興協会主催旅フェア出展（東京）
- ・2月11日 全国旅行業協会主催地旅博覧会出展（和歌山）



3 海外観光客誘致対策事業

○韓国・台湾・タイなどにおける誘客対策事業

海外から本県を訪れる観光客の増加を図るため、県が平成24年8月に策定した「大分県ツーリズム戦略」に沿って取組を推進した。

中でも外国人観光客の7～8割を占める韓国、親日的で本県への観光客が大きく増加している台湾、訪日観光客が急増しているASEANのタイを中心とした誘客活動を展開した。

誘客活動の実施にあたっては、九州観光推進機構や九州各県と連携して、国のビジット・ジャパン（VJ）事業等を活用するなど、効果的に取組を実施した。

【韓国】

福祉、農業などの視察団体やマスコミによる取材の受入を行うとともに、「韓国国際観光展(KOTFA2013)」の出展や商談会への参加などにより、旅行会社等との良好な関係を構築し、情報収集を行うとともに、旬な旅行情報や宿泊施設情報など旅行会社等のニーズの高い情報の提供を行った。



KOTFA2013

また、2月19日、20日には、釜山市において本県の観光資源の魅力を官民一体となって売り込むため、大分県観光プロモーションを実施した。県内観光事業者等51名、現地の旅行関係者等から70名を超える方の参加をいただき、商談会、レセプションが開催され、会場では常に熱のこもった商談や情報交換が行われるなど、現地旅行関係者との関係強化が図られた。



大分県観光プロモーション（商談会・レセプション）

【台湾】

台湾では温泉への関心が高いことから、「台北温泉フェスティバル」などの観光プロモーションを通じた「日本一のおんせん県おおいた」のPRを行うとともに、マスコミ等を招請し情報発信や商品造成の働きかけを行った。

また、台湾における誘客活動に先行して取り組んでいる熊本県と連携し、「日本の観光・物産博」への出展やセールス活動等を実施した。



台北温泉フェスティバル

【タイ】

大震災や放射能の懸念からは早期に脱却し、訪日観光客が拡大しているタイにおいて積極的に誘客活動を実施した。旅行会社招請などを実施し、旅行商品の造成を促進するとともに、「タイ国際観光展(TITF2013)」の出展、九州各県と連携し実施した商談会への参加等を通じて、本県の観光PRと旅行会社等との関係構築を図った。

また、観光・県産品の一体的なプロモーションを目的として大分県が主催した「大分県タイプロモーション」に参加し、観光PRを行った。



タイプロモーション 観光ブース

【その他地域】

九州観光推進機構や九州各県と連携して中国、シンガポール、香港などメディア取材や旅行エージェント等の招聘などにより、情報発信や商品造成を働きかけた他、



シンガポール商談会・説明会

シンガポールでは、九州各県と連携し実施した商談会・説明会に参加し、本県の観光PRを行った。

また、7月には熊本県、長崎県、佐賀県と連携して、東京で在京ランドを対象とした商談会を開催した。

4 ツーリズム推進体制強化事業

(1) 総会の開催

会員の総意に基づきツーリズムおおいたの事業を推進するため、通常総会を6月21日に中津市のグランプラザホテル中津で開催した。通常総会においては、前年度の事業報告や決算報告を行うとともに、新年度の事業計画案、収支予算案などを諮り、すべて原案通り承認された。また、大分県のツーリズム振興に特に功績のあった1団体に対してその功績を称え、表彰を行った。

(2) 理事会の開催

総会での議案審議のための理事会を6月3日に開催した。

また、理事の交代に伴う副会長・専務理事選任のため、通常総会の際に理事会を開催した。上期の事業報告のため、10月に理事会を開催した。

3月に本年度の事業報告、ならびに新年度の事業計画及び収支予算の審議を行った。

(3) 運営基盤の確立

安定した運営基盤を確立するため、新規会員の加入や自主事業収入の確保に努めた。

(4) 会員との連携強化

大分県全体のツーリズム振興をさらに円滑に行うため、各地域の市町村・観光協会・観光事業者・まちづくり団体など会員との連携・情報収集に努めた。